

体育研究所創立40周年記念号の発刊に寄せて

Remarks on the occasion of publication of a commemorative issue marking the 40th anniversary of the foundation of the Institute of Physical Education

角 田 直 也

Naoya TSUNODA Ph.D

昭和52年4月(1977年)に設置された国土館大学体育学部附属体育研究所は本年度で40周年を迎える事ができました。国土館創立100周年と時期を同じくして設置40周年を迎えられました事に感謝申し上げます

記念号として体育研究所報第36巻を発行する事ができました。

本研究所の設置構想は、昭和50年代に入った頃、大学院新設を念頭に設置されたと聞いております。当時の学部長故金子藤吉先生が学部将来構想の一環として体育学部研究所を設置して、国土館大学の「体育に関する高度な専門的研究を実施し文化の発展に寄与する事の推進」を目途としたものでありました。

初代所長には、運動医学の権威者であった豊田章先生(筑波大学名誉教授)を専任教授としてお迎えし、世田谷校舎5号館2階の教室(現学長室)を改修してスタート致しました。また、人事に関しては、故前川峯雄(当時中京大学大学院教授、日本体育学会会長)並びに松本芳三(筑波大学名誉教授)の両先生を客員教授兼研究所顧問に就任して戴きまして研究所全般に関してのご指導を賜りました。学内関係者としては研究所設置に最もご尽力戴いた故坂井正郎教授(当時教養学部長、

日本体育学会理事、昭和45年に国土館大学で開催された日本体育学会大会組織委員長)が顧問に就任されました。研究所次長には故石田啓教授(第2代研究所長)が就任され、運営委員として故服部利夫教授(当時)、矢野博志助教授(当時)、中原凱文助教授(当時)及び滝山将剛助教授(当時)が任に当たられておられました。体育学部助手を兼ねた専任所員として、中京大学大学院体育学研究科修士課程を修了した小生を採用して戴きました。大学院時代の恩師であった前川先生から坂井先生のご要望を豊田の地で拝聴したことが大変懐かしく感じられました。

兼任所員は当時の体育に関わる客員教授、専任教授、助教授の先生方17名でありました。

開設当初、豊田初代所長が掲げられた事業内容としては、1.健康、体力に関する調査研究、2.体育に関する調査研究、3.リハビリテーションに関する調査研究、4.スポーツ競技力向上に関する調査研究及び5.その他目的を達成するために必要な事業等でありました。豊田所長が常日頃私に話されておられた事項の一つとして、「国土館はチーム力を高めて研究力、即ち研究成果を出す事である」でありました。その最初の事業が体育学部教員による研究プロジェクトの編成と体育学部学

生を対象とした体力テスト結果の資料整理と分析でありました。豊田所長は昭和53年に病に伏され、昭和54年10月に志半ばでご逝去されました。体育研究所の設置から2年半であり、途方にくれた日々でありました。しかし、その後、歴代所長（資料参照）並びに学部教員の皆様の協力を得て40年間の歴史を重ねる事ができました事に対して、研究所設置にご尽力戴きました先人の先生方もお喜びになっておられる事と確信致しております。

平成4年（1992年）に体育学部が世田谷から多摩校地（多摩キャンパス）に移転し、平成13年（2001年）に当時の大澤英雄学部長（現学校法人理事長）により念願であった、国土舘大学大学院スポーツシステム研究科修士課程が設置され、当初の体育・スポーツに関する学術研究が活発に推進される様になりました。また、現在では、大学院救急救命システム研究科も増設され新しい学術研究分野も構築されております。体育学部も4学科が設置されて教員数も多くなり、研究分野も多岐に亘っております。

最近の体育研究所のプロジェクト内容としては、1. スポーツ文化的研究、2. スポーツ科学的研究、3. スポーツ身体形態機能的研究及び4. スポーツ医学的研究等であり、多くの先生方による研究チームで実施されており、初代所長の豊田哲学を継承できているものと思います。

設置半世紀に向けた体育研究所の活動を企業に例えるならば、体育研究所は製品開発の拠点であり、研究成果である製品の評価を学外に求める努力が更に必要と考えます。さらに、その製品を学生や社会に還元する事が極めて重要に思われます。

そこで、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた学生アスリートのスポーツ実践科学に関するプロジェクト研究、高齢者社会に対応したトレーニングプロジェクト研究、こどものスポーツ活動に関するプロジェクト研究及びスポーツの文化的研究プロジェクトの構築等により、40年前の設置趣旨を永遠に継続できるものと思います。

皆様方からの更なるご教示、ご批評を賜ります様宜しくお願い申し上げます。



40th Anniversary

体育研究所創立40周年記念ロゴマーク